くにみ

【第60号】
昭和37年9月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤善次郎
編集人 鈴木美一
印刷所 宇佐美印刷所

第9回 町民体育大会近づく

豊作を祝い みんなで楽しく

町村合併を記念し、懇親融和を図り、新町建設の精神をもり上げるために始められた町民体育大会も、ここに九回をかぞえ、名実共にわれらのスポーツとレクリエーションの祭典として、年ごとにその参加者を増し、他町村からも大きな注目をされています。

今年は、更にその趣旨を徹底し、八年つづきの大豊作を祝うために、次の要項で行なうことになりました。どうぞ皆さん、奮ってご参加下さい

—要 項—

◎期日…十月七日(日)
雨天の際は十四日とする
◎会場…藤田小学校
◎参加者…各種団体機関及び一般町民とする
◎採点…しない。したがって綜合優勝などきめない
◎賞…次のように参加者にはもれなくゆきわたるようにする
○殊勲賞(一二三位の者)
○敢斗賞(等外者)
○技能賞(踊りやダンスその他の演技者全部
○参加賞(五方部に)
◎種目…老若男女それぞれに向くものを選び、誰が見てもおもしろく、やればなおおもしろい、そして町民であるかぎり誰でも気軽に参加できるように工夫してある

◇一般
○五〇㍍(男女別年令段階別に行なう)
○一〇〇㍍(前に同じ)
○四〇〇㍍
○一五〇㍍
○おしどりレース
○輪廻し(男)
○スプーンレース(女)
○職場リレー
○部落リレー…女二人(一人半周)男三人(一人一周)

◇婦人会(婦人学級も含む)
○家族合せ
○ボール送り(方部対抗)
○玉入れ(同前)
○踊り…まんまる踊り、日本一だよ、県婦連の歌
○その他一般の部に奮って参加されたい

◇青年団(青年学級を含む)
○植物採集…カードを拾い書いてある植物をあつめて帰る
○各部リレー
○結びましょう(団体)
○私は誰でしょう(団体)
○フォークダンス

◇消防団
○出動競争
○一六〇〇リレー
○ポンプ操法

◇その他
○剣友会…剣道
○郷友会
○部落長、納税組合長…輪廻し、風船つり
○議会…委員会リレー
○来賓…輪廻し
○綜合綱引
○方部、団体の特別演技

◎参加申込み
○団体関係は各団体長から連合団体長を通して本部へ申込む
○職場や部落対抗はそれぞれの職場長、部落長から本部へ申込む
○一般は会場で呼出しに応じて速かに出場する
(以上)

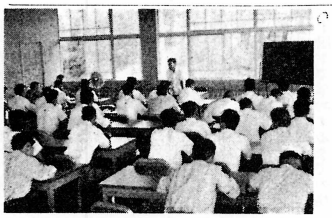
水稲直播栽培法など研究

国見町農事研究会連絡協議会(会長八島健一君)では、郡山にある県立農業試験場を利用しての農事研修会を開いた。それは、これまで一般に行われている単なる研修会や講演会、講習会ではなく、農業試験場という県の施設を使っての研修会で、もちろんただの慰安旅行でもない。

八月二十四日午前七時役場前を出発、九時半会場到着、今回の目標は三つ、即ち

(1)、水田の革新技術の導入の確認
(2)、水稲直播栽培の長所短所
(3)、水田除草剤の体系の確立

参加者四十五名の腹の底にはこの目標がしっかりと抱かれている。〃目標の確立〃ということは成功への才一歩である。



まず、午前十時から、高橋技師から「水田除草剤の種類と体系」についての講義をうけ、これまで雑然としていたあたまの中に、農薬の中の水田除草剤の系統位置づけがはっきりと整理された。よく科学的とか合理的とか口にするが、こうした体系的なならづけがあってはじめて効率的な活用ができるのである。

おひるは農民センター(みのり荘)で和気あいあいのうちにとる。午後はまず圃場を見学しながら、除草剤の体系研究の成果について確認を深め、又、農機具館では、今後の農法と機械化導入について実物について勉強した。三時から四時半まで、一日の総まとめを兼ねて研究座談会を行なう。

農業人口の減少による労力不足を補うためと生産費低下のために考えられるのが省力栽培と機械化導入ということであり、機械はなるべく大型のものが能率的であること、それには協同化が絶対条件であることなどで話に花がさき結論として、農業構造の改善はまず人間のあたまの構造改善からということになった。

午後五時、試験場に別れを告げ帰路についた。帰りの車中で開いた反省会のことばをまとめてみると、

○これまでの見学とか視察とかは名ばかりで実際は慰安旅行が多かった。今日の研修会はほんとうの意味の研修会で、これからも大いにやりたい。

○研修ということは遊びや休みではない。最もたいせつな仕事の一つである。ひまがあったらとか、ひまを見つけてというのでなく、必要があったら、いつでも、何回でもやるべきだ。

○ものごとをやるときはまず目標をはっきり定め、最も効果的な方法を考え、能率的にやるべきだ。われわれが寄付をし、税金を出してつくってある農業試験場という施設を十二分に利用するのがりこう者のやることだと考える。早く「隣り百姓」をやめよう。

国見町奨学生募集について

国見町奨学生の募集については前号でお知らせしましたが、資格などの事で迷っている人がある様です。

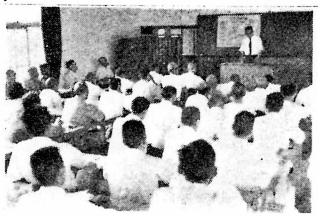
自分たちだけで思い迷っていないで、奨学資金のことに限らず教育に関することに一切について、遠慮なく教育委員会事務局や学校にご相談になるのが良いと思います。

なお奨学資金の申し込みは高校一年生の場合は九月三十日、中学三年生の場合は十月三十一日が〆切日ですから重ねてお知らせします。

引つばりだこの研修所 映画併用も大ばやり

国見町青年研修所は、そのかもみな映画をつかっているのが注目される。本紙〆切り間ぎわのものだけでも次の通りである。

◎伊達管内青年研修講座
九月十二日、管内各町教育委員会から推せんされた男女青年たち五十余名(わが町からは十一名、外に先輩五名)が、午前中は福島高等予備校長佐藤信先生の民法の話をきき、午後は映画「話し上手」「これからの農民生活」を見、小団にわかれて話し合いをした。この講座は月一〜二回、会場は各町持



共済組合では、九月十三日午後一時より、青年研修所で講習会を開き、県連合会新開事業部長の「現代農業のあり方」桑折地区農業改良普及所長根本重右エ門氏の「近代農業の経営指針」についての講義をきき、損害評価の技術面についての研修をし、最後に映画「農民生活の指標」「稲作の発展」を観賞し、中秋の暮色迫る午後六時半解散した。出席者六十二名。

◎ラジオ農業学校の現地集合研修
ラジオ放送(NHK才二)を聞いて勉強するいわゆるラジオ農業学校では、九月十四日午前九時半から午後五時まで青年研修所で現地集合研修が行われた。今最も問題にされている農業構造改善とそれに対処する農村青少年の心構えや当面する農作業の実地について適切な指導があり、映画「これからの農民生活」「稲作の発展」をみて大きな感動をゆえんがある。わが国見町役員総会では、九月十四日午前九時半から午後五時まで青年研修所で現地集合研修が行われた。今最も問題にされている農業構造改善とそれに対処する農村青少年の心構えや当面する農作業の実地について適切な指導があり、映画「これからの農民生活」「稲作の発展」をみて大きな感動

◎老人クラブ研修会
九月十五日(としよりの日)国見町長寿会では青年研修所で役員総会をこれからの事業活動について協議したのち、映画「人工衛星の話」「民芸と共に五十年」からすもう物語」などをみて勉強した。

ち廻りで行ない、ときどきは見学やキャンプなどもする。

◎評価委員の講習会
農業共済制度における損害評価は最も適正公平を要するものので、その任に当る評価委員の役割りは実に重大なものといわれ、そこにその人格の高さと不断の研修が要求され

遊びに夢中になる子供の時代に教育的な遊戯を行なわせ、発育の旺盛な時期の青少年に適当な運動を行なわせる必要があるということは早くから認められて、明治初年の学制改革と同時に遊戯と体操が学校教育に導入せられ、それ以来今日まで学校体育は一貫して発展をつづけて、今や幼稚園から大学にいたるまで保健・体育として学校教育の重要な一部を占めている。

ところが、一般社会人の体育やスポーツは、古い封建制度の遺習や勤労観にわざわいされてほとんどかえりみられず、わずかに青少年の間で行われるスポーツをやむを得ざる必要という程度で見逃しただけで、一部スポーツ、体育関係者の努力にもかかわらず明治、大正、昭和初期を通じて政治、行政、教育の面でとりたてていえるほどの手はうたれていなかった。

幸か不幸か、敗戦という大きな代償を払ってかちとられた自由主義と民主主義政治思想とによって書きあらためられた新しい日本国憲法は、その才十三条において「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福利に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」ことを宣言し、また才二十五条では「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」ことを定めた。

スポーツ振興法実施 一周年にあたって

これらの権利は国民みずからの努力によって獲得しなければならないものではあるが、ともかくそれまでの与えられた生活や古い習慣をはねかえして、積極的に自分の生活を守り高めゆく希望がもてることになり、そのことについてなんらの遠慮気がねがいらなくなったことによって、個人の自由と幸福追求の権利、健康で文化的な生活への要求はにわかに高まり、それに伴なってスポーツに対する関心も急速に社会の表面に浮び出ることになった。

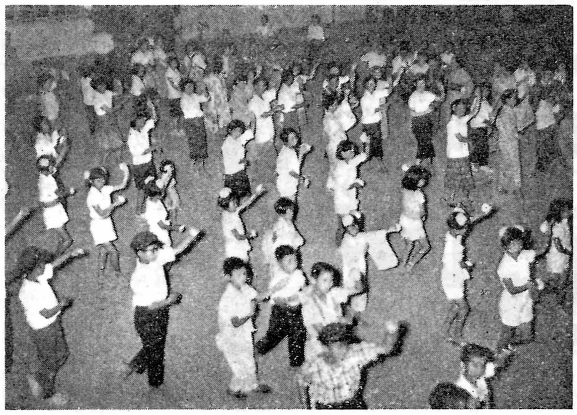
これでみると、これまでの社会生活で体育やレクリエーションが問題にされなかったということは、日本人がそのことに無関心であったとか、きらっていたということではなく、ただ制度や教育によって抑えられていただけであるということがはっきりしている。そしてそれは昭和二十四年に成立した社会教育法において、体育とレクリエーションは社会教育の一環であることを確認し、それを普及奨励したり、援助することを国と地方公共団体の任務であるとしたことによくあらわれており、それがさらに今回スポーツ振興法として単独立法にまで発展したことは、スポーツが今や国民的要望まで高まったことを示すものであり、学校といわず、一般社会といわず、すべての国民のスポーツに親しみたい、親しませたい、という要望が結集したもので、近々十数年における国民のスポーツに対する態度と関心の変化にはおどろかされるものがある。かくしてスポーツは、いよいよ国民の自由、幸福追求の重要な要素となったということができよう。

(註)スポーツ振興法は昭和三十六年六月十六日法律才一四一号をもつて公布され、同年九月十五日施行になつている。

◎健康で農繁期を送るために……適当な休養と栄養を、そして正しい教養を!!

◎十月七日（日）……町民体育大会です。農作業を進めて、みんなでご参加下さい。

今年もにぎやかに 親子豊年踊り



森江野地区の親子豊年踊りは、初秋を飾る風物詩の一つとして、わが町の名物となつたが、今年も、八月三十一日九月一日の二夜にわたつて、にぎやかに行われた。各種団体一体となり、小学校の校庭いつぱいにくりひろげられた壮観には、あたかも視察に来合せた某新聞社特派員も感激していた。今年始めて大会長に選ばれ、その企画運営に当つた後藤豊松氏（森江野地区社会教育連絡協議会長）は

「皆様の偉大なる協力によりまして、年年盛大になつていきますことは、真によろこばしいことです。地区を挙げ、老若男女一円融合の姿こそ、子弟教育、社会教育上最も望ましい姿であり、町作りのあらゆる施策の基礎もこのへんにあるものと信ぜられます。」

と語つていられる。

【真写】は無心に踊る子ども たち

「農休日」実施の利益と障害

【成果】

イ、農休日に休めるからと、仕事に楽しみと節度が生まれて、にわかに能率が上つて来た。

ロ、農休当日は、一切の仕事から解放されて安楽な気分にひたり、身も心も休養できる。

ハ、経営診断の基礎となる家計簿を記す家庭が多くなつた。

ニ、読書する時間のゆとりができて「家の光」誌で洋和菜栽培の研究をし、思わぬ収益をあげた家庭もある。

ホ、話し合いの集いが適時諸所に開かれて、心に一片のかげりも持たずに交際できるようになつた。

ヘ、協同心が昂揚してきて、みかん集団栽培の指定を受け、農業構造改善へのいとぐちが開けた。農道改修拡張工事も着々と進められた。

ト、他地区にも農休日が設けられ、農休の旗がひるがえつているのが見受けられる。

【障害】

イ、実施段階に移る前のPR に容易ならない協力と時間を要した。

ロ、他の家が休んでいる間に仕事をすれば、それだけ自分が伸びる、と考えがちな狭い心持ちを解きほぐすのに困難だつた。

ハ、そらまめ、バセリー、しようがなどの出荷に当り、農休日当日にそこそこやつて市場迄持ちたものが割り高に仕切られたこともあつた。たとえ偶然であつたにしても生産する者の心理は微妙である。

ニ、農休を提唱して自己宣伝の具に供するのではなかろうかと疑われた。

ホ、農休日前後が雨天らしい予報が出ると、誰しも休日を返上して仕事を片付けたい気持に駆られる。このような時にこそ指導者の神の締め方が大切である。

ヘ、大勢の会合の席では農休日提唱の中心であつた役員の一部が、蔭へ廻つては反対の急先鋒となり、自身の家庭では一向実施しようともしなかつたりした。

ト、最近婦人会などで、農休日毎にいろいろの行事を計画され、実際には休養とはならない。講演をきいたり話し合つたりするよりは、家で気ままに仕事をしていた方が楽だという者がいる。

（千葉県池之内区長　青木静夫氏）

（註）この文は「社会教育」七月号の同民の記事の中から拝借りしたのですが、この運動を進めるのに大変参考になると思います。（美）

冬枯れにそなえる保存食のべんきよう

◎山崎では保存漬

山崎むつみ会では、八月三十日生活改善普及員菅野貞子先生を招き、なすの、きうりなどの保存漬の講習をうけた。これをきいていずみ会・小館母の会でもこれを開き、みんなによろこばれている。

◎県立図書館の巡回文庫が参つております

小坂（小学校）と貝田（松田理髪店）に毎月県立図書館のあづま号がまいります。おもしろい本をたくさん積んでまいり、皆さまのご希望によつて、最近婦人会などで、農休日毎にいろいろの行事を計画され、実際には休養とはならない。講演をきいたり話し合つたりするよりは、家で気ままに仕事をしていた方が楽だという者がいる。

（千葉県池之内区長　青木静夫氏）

（註）この文は「社会教育」七月号の同民の記事の中から拝借りしたのですが、この運動を進めるのに大変参考になると思います。（美）

図書部だより

◎グループで読書を〃

読書の節となりました。近所の方や職場の方が、ときどき集つて同じ本を読んだり、読後の話し合いをしたりするために、読書グループを作りましよう。グループの作り方や運営の方法などについては公民館にご相談下さい。

◎県立図書館の巡回文庫が参つております

小坂（小学校）と貝田（松田理髪店）に毎月県立図書館のあづま号がまいります。おもしろい本をたくさん積んでまいり、皆さまのご希望によつて、最近婦人会などで、農休日毎にいろいろの行事を計画され、実際には休養とはならない。講演をきいたり話し合つたりするよりは、家で気ままに仕事をしていた方が楽だという者がいる。

（千葉県池之内区長　青木静夫氏）

（註）この文は「社会教育」七月号の同民の記事の中から拝借りしたのですが、この運動を進めるのに大変参考になると思います。（美）

山岸二部落の佐藤一江さん。尚この製品は、正月のおふくでん講におそなえし、みんなで試食する予定。

図書部だより

◎グループで読書を〃

読書の節となりました。近所の方や職場の方が、ときどき集つて同じ本を読んだり、読後の話し合いをしたりするために、読書グループを作りましよう。グループの作り方や運営の方法などについては公民館にご相談下さい。

◎本の貸し出し規定を守りましよう

公民館の図書貸出し規定をみると、一人四、〜二冊、一回七日以内、特別の理由があれば係りの承諾を受けて多少延ばせるとして転貸しは固くおことわりとなつております。いろいろのまちがいを防いだり、少ない本を多数の人びとに利用していただくためのきまりですから、みんなでご協力下さい。但し、本の数も前よりはふえていますから、多少延ばしてもよいとは思われますが、新しい本やおもしろい本は誰でも早く読みたいのですから、やはり規定によつてご利用下さい。公民館の本は町民みなさんのものです。

◎館長全国表彰

九月十一・二・三日北海道帯広市で開かれた全国公民館大会において、わが佐藤館長は社会教育功労者として全公連会長から表彰をうけました。

◎鈴木主事社教主事講習会終わる

鈴木主事は、七月十一日から二ケ月間、東北大学で開かれた文部省主催の社会教育主事講習に出席し、九月六日終了した。但し、試験やレポートが合格しているかどうかはまだわからない。

事務局だより

三分・一分制になる電話料

電々公社では、九月三十日から新しい料金制度に切り替えることになつた。つまり「交換手のつなぐ市外通話は、最初の三分間をこえると、あとは一分ごとに料金が計算される」…これまでは、一通話は三分間で、四分で終つても、また五分で終つても二通話つまり六分ぶんの料金がかかつていたが、九月三十日からは三分をこえると、実際に通話した時間に応じ、一分きざみに料金を支払う合理的な方法に改められた。

十月の巡回映画

「お父さんの勉強」など

伊達管内視聴覚教育研究会では、こんど買入れた映画フイルムを各地区に巡回し、各学校・公民館の利用に供しているが、みなさんの貴といおかねで買つたものであるから十二分にその効果をあげたいため、精々利用されるよう望んでいる。十月の後半に当町に廻つてくる番組は「貝塚と土器」や「お父さんの勉強」など特に成人教育に参考になるようです。

すから、皆さま誘い合つてお出で下さい。

◎たくさんの本ご寄贈ありがとうございます

藤田の松崎俊さんから左の本ご寄贈いただきました。お礼を兼ねお知らせをします。

ふう癲老人日記・木石に非ず・聴太郎・耳・眼の壁・怪屋・赤い椿の花・白扇の死角・悪人の眺め・無法松の一生

二人が消えた夜・誰も知らない・ちず潤・ゆがんだ複写・成吉思汗の秘密

時事いろはカルタ（二）

（編集後記にかえて）

ち…ちえを肥やす読書（灯下親しむべきの候）

り…りくつだけでは通らぬ（りくついえようでも困る）

ぬ…ぬしとわたしの合作（子供のしつけにも共同責任）

る…ルール守つて良い国見（十月六日はスポーツの日）

わ…わすれずに火の用心（農繁火災期近づく、ポンプ百より用心一つ）

か…かしこい親からかしこい子ども（お父さん、勉強しましよう）

【お願い】たゆまずつきそうです。応援して下さい。

よ、た、れ、そ、つ、ね、な、

リレー報告記

裾野の旅（3）

藤田小学校長　古川松太郎

環境は人をつくる

〃静岡県人の明るい表情〃これは、われら一行六人が、三島駅におりたとたん、いちように感じた印象であつた。きれいな町とか、活気のある町

施策の特にすぐれた町とかいうのではなく、市民のなんとなく明るい、ほがらかな感じ、こせこせしない気分、いつたいこれは、何が原因しているのか。

市内を歩いていくつもの川に出遇つたが、どの川もきれいな水が流れている。川底の草や小石まですきとおつて見える、水晶のような水である。

「富士の白雪がとけて流れてきた水」それに、市内至るところから湧き出る地下水があつまつて流れているのだそうだ。毎日秀麗雄大な富士を眺め、このきれいな水で生活している三島の人は、心の美くしさでも日本一でしようと、道で遇つた一婦人がいつていた。

「水清ければ魚すまず」といえば、ここでは「水清くして人また清し」といいたい。

史跡探訪

ここの婦人青少年会館見学は、本隊と合流してからにゆずつて、快速電車で伊豆韮山へ、そしてハイヤーを飛ばして史跡めぐりをする。江川太郎左ェ門が反射ろを築いて大文式両道に達した太郎左ェ門が蛭が小島に流されたことは吾々戦前派には、郷愁のように心の奥底に残つている。

徳川幕政時代、代官は全国直轄地の行政官として配置された。従つてその数は相当の数にのぼつたものと思われるのに、ここの代官屋敷が特に有名なのは何故か、それには二つの意味があるようだ。一つは太郎左ェ門その人の代官としての業績の偉大さと幕末における国防実践者であつたことであり、他の一つは、代官屋敷としての江川邸がわが国建築史上に貴重な資料を提供していることである。

名代官江川

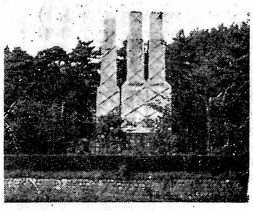
甲斐・伊豆など十八万石は、関東の咽喉を扼する要衝であつた。江川太郎左門は三十五才で流され、約二十年間、三十四才で挙兵するまでの生活の地として有名であるが、今は、坦々として続く水田の一角、僅か一アールばかりの土地に、古松の下に立てられた石碑が、さびしく歴史を物語つているにすぎない。

蛭が小島

源頼朝が平清盛によつて十四才で流され、約二十年間、三十四才で挙兵するまでの生活の地として有名であるが、今は、坦々として続く水田の一角、僅か一アールばかりの土地に、古松の下に立てられた石碑が、さびしく歴史を物語つているにすぎない。

反射ろ

幕末憂国の士江川太郎左ェ門が国防の先駆者として反射ろを築き、江川太郎はくろうとしたことのよしあしは別として、まだ海外の文化も入つてこない当時として、これだけの設計には特に苦心し、何回か造りかえ、長年月かかつて完成したとか、火入れをしたのは歿した直後であつたとか。この反射ろ・ではその後数百門の大小砲を造り、元治元年、小石川に鋳造所（後の砲兵工廠）を設けるはその数ある遺品によつてうかがわれる。



反射ろとは大砲を造るろなんだということだけで片づけてしまいたくない。耐火煉瓦の研究一つにしても、材料は天城山や遠く九州からとりよせ、非常な苦心の末できあがつたとか、ろの設計には特に婦人や青年のはたらき、それに協力を惜しまなかつた地域民の熱意など心打たれるものがあつた。

予定の見学コースを終えたわれわれは、後ろ髪を引かれる思いで本隊と別れ帰途についた。（完）

今その当時そのままの姿で残つている反射ろの前に立つて、われわれは感慨無量なるものがあつた。

婦人青少年会館

本隊の待つであろう三島へ向う。わが国最古の木造住宅江川邸と対照的なのが三島市の婦人青少年会館である。社会教育のセンターとして、講堂、小会議室、結婚式場、老人室、調理室、図書室、事務室などいたれり、つくせりだ。

公民館主事さんから、この会館の出来上るまでの経過や現在の運営状況をきく。特にこの会館建造の原動力となつた婦人や青年のはたらき、それに協力を惜しまなかつた地域民の熱意など心打たれるものがあつた。

予定の見学コースを終えたわれわれは、後ろ髪を引かれる思いで本隊と別れ帰途につい